各常任委員会が　行政視察研修を行いました

・総務教育常任委員会

日　程　令和４年11月14、15日　　**視察先**　長野県安曇野市、群馬県富岡市

内　容　デマンド交通について

本委員会では、11月から双葉地区で実証運行を行っています「ＡＩデマンド交通」について視察を行いました。

安曇野市では、平成17年の町村合併に伴い路線バスが廃止となり、市としての交通体系を再構築し、地域間の交流や連携を図るため一体感のある新たな公共交通システムとして平成19年から導入を行い、玄関前から目的地まで運行するドアツードア方式を採用した運行形態でした。また、今後、高齢者の自動車免許返納などの移動手段の転換に合わせ、デマンド交通の利用回数券を交付するなど更なる利便性の向上を図るとしておりました。

富岡市では、令和３年から運行を開始し、本市と同様に、停留所間を複数乗車で相乗り運行する、区間運行方式（デマンド型）を採用。300m間隔に１か所、市内444か所に停留所が設置をされ、こちらも路線バスに代わる交通手段として、市内全域を対象エリアとし、６台の車両が365日運行、令和３年は、運行１年目で約40,000人の利用実績がありました。また、停留所の間隔300mは、利用者の健康も考え、停留所まで歩ける距離を設定しており、地元の要望があれば増設も可能。さらに、富岡製糸場や市内に来る観光客も停留所から登録すれば簡単に利用ができるというもので、どちらの市の事例も本市の導入に参考になるものでした。

視察の様子（長野県安曇野市、群馬県富岡市）

・厚生環境常任委員会

日　程　令和４年11月８、９日　　**視察先**　東京都杉並区、埼玉県さいたま市

内　容　１）「杉並区立児童青少年センター ゆう杉並」について
２）さいたま市子ども家庭総合センター あいぱれっと」について

本委員会では、旧山梨県緑化センターの跡地に子育て支援の機能を有する複合施設などの整備を検討していることから、県外２施設の視察を行いました。

初めに、杉並区の「児童青少年センター ゆう杉並」は、平成９年９月に開設した児童厚生施設です。「児童青少年センター」という名称ですが、利用者は「児童」よりも「中・高校生」の割合が多く、高校生だけで半数以上を占めています。また、運営については「中・高校生運営委員会」を設置し、中・高生自身が直接運営に関わり、職員などと意見交換をしながら、中・高校生のさまざまな意見を取り入れ運営・情報発信、自主企画事業を行い、過ごしやすい居場所になるよう工夫をしていました。

次に、さいたま市の「子ども家庭総合センター あいぱれっと」は、子ども・家庭をとりまく課題に総合的に取り組み、子ども・家庭、地域の子育て機能を総合的に支援する施設として、公立中学校跡地に平成30年４月に建設されました。施設内には、屋内外に親子で遊べるスペース（ぱれっとひろば、冒険ひろっぱなど）や多目的ホールなどがあり市民の交流の場となっており、また、「総合教育相談室」や「さいたま市児童相談所」などの各種専門相談機関も集約されており連携した支援が受けられる体制となっています。

視察の様子（東京都杉並区ゆう杉並、埼玉県さいたま市あいぱれっと）

・建設経済常任委員会

日　程　令和４年11月16、17日　　**視察先**　栃木県佐野市、茨城県常総市

内　容　１）出流原ＰＡ周辺総合物流開発整備事業に関わる企業誘致
２）圏央道常総インターチェンジ周辺地域整備事業に関わる企業誘致

本委員会では、今年度４月の機構改革により商工労働・企業誘致係が発足し、市内の企業誘致に今まで以上に取り組むこととなったことから、企業誘致の先進地である、栃木県佐野市と茨城県常総市へ赴き、視察を行いました。

佐野市では、北関東自動車道出流原ＰＡ周辺の総合物流開発整備事業に関わる企業誘致をテーマに、主に「佐野インランドポート」についての説明を受けました。この施設は、佐野市が事業主体となり、市の指定管理者制度による管理運営を行っている物流拠点施設で、空荷を減らすことによる物流の効率化を目指し、渋滞緩和による二酸化炭素削減を実現した、内陸部にある施設でした。

つぎに、常総市では、市の基幹産業である農業を活性化するため、圏央道常総ＩＣ周辺地域に農地エリアと都市エリアを融合させた約45ha の産業団地の整備が進められていました。市の担当者から、事業計画の構想から現在に至るまでの状況についてなどの説明を受けた後、車窓から現地の見学をしました。一部の企業については、すでに操業が開始されていましたが、本格始動は令和５年春ということで、現場は大規模工事の真最中でした。

両市ともに、委員からの質疑が活発にされ、先進地事例について有意義な情報を習得することができました。

視察の様子（栃木県佐野市、茨城県常総市）

各常任委員会が行政視察研修を行いました